

保安検査スタッフ

お仕事
File
36

荷物検査のモニター監視や金属探知器を使った接触検査など、搭乗前のお客様に対する保安検査を厳格に行っています。



鹿児島総合警備保障株式会社
常駐空港支店 保安警備隊 隊長
警備士長

たかみね ゆうた
高嶺 雄太さん



女性隊員と2人1組で出場した保安検査コンテスト。300人ほどの観客が見守る舞台上で、各国のあらゆるタイプのお客様に対する実技を審査された。「会社のみんなで獲得した3位だと思っています」と高嶺さん。

interview

お仕事内容について具体的に教えてください。

搭乗口の前にある検査場での保安検査が私たちの仕事です。検査荷物のモニター監視や、携帯用金属探知機を使った接触検査などを、1日何百人もの乗客の皆様に対して行っています。また私は現場隊員の人員配置や指導・教育のほか事務作業も担当しています。

保安検査で気をつけていることはなんですか？

保安検査はお客様の協力のもとで成り立っています。自分の荷物を見られることに抵抗を感じる方も多いと思いますが、そこをどう理解していただくかを考えるのも私たちの重要な仕事です。サラリーマンや旅行者など毎日いろいろなお客様がいらっしゃいますが一人ひとりの表情をよく見て、お客様の立場に立って迅速かつ的確な検査を行うよう心掛けています。

やりがいを感じるのはどんな時ですか？

検査場ではお客様に手間をかけてしまうので時に厳しいお声をいただくこともあります。その一方で「いいんだよ、それがあなたの仕事なんだから」「検査をしてくれるから私たちも安心して飛行機に乗れるんだよ」と声をかけてくれるお客様もいらっしゃって、そういう方々に会えると「やっていてよかった」と力が湧いてきます。

全国の空港を対象にした保安検査コンテストで入賞したそうですね。

国内定期航空保安協議会主催の保安検査のスキルを競う大会で鹿児島空港代表として出場したのですが、全国の空港から選ばれた15空港が参加する中で3位をいただきました。いつも通りお客様の目を見て柔らかい接遇を心がけたことが評価していただけたのかなと思います。あとで他の空港の審査の様子もビデオで見ましたが、他県の空港が方言を織り交ぜて個性を出しているのを見て、これから私たちも「あいごとさげもした（鹿児島弁でありがとうございました）」くらい言ってもいいのかなと思いましたね。

日本と海外の保安検査の違いはありますか？

「おもてなしの心」で保安検査をする国は日本だけではないでしょうか。例えばアメリカなどでは検査員がお客様の荷物を勝手に開けたりしますが、日本ではあり得ません。しかしその分、海外のお客様は日本人より検査にとっても協力的。「保安検査をきちんとしない人とは一緒に飛行機に乗りたくない」という方もいるほどです。

今後の目標を聞かせてください。

日本の保安検査としての接遇は世界一だと思いますが、セキュリティ面も世界一になれるように日々の仕事に取り組んでいきたいです。日本人も飛行機に乗る際は一人ひとりが「何かあってはうちに帰れない」という危機意識をもってほしいと思っています。9.11のような悲惨なテロを忘れずに、飛行機に乗る全ての人が安全を確保するという気持ちに少しでもなっていけたらうれしいですね。